

# 今を未来に

## お迎え時の注意を再度お願いします

先日、学校メール（すぐメール）でお願いしましたが、最近、本校西門前道路において、お迎えの自動車が駐車することにより、車が通行しにくくなったり、農作業車が侵入できないなど、地域住民の方から学校へ多数のご指摘をいただいています。

すでに学校だより『今を未来に・第12号（6月25日発行）』でもお知らせしておりますが、理由がある場合を除き、保護者による児童の送迎はつつしんでいただきたいと再度お願いします。各家庭におかれましては、児童が自力で集団登下校ができるように再度ご指導をお願いします。

今年度からは、学童保育の送迎とも重なり、時間によっては児童を巻き込んだ交通事故がいつ発生してもおかしくない状況がうまれています。

また、本校は土地の広さや校舎・施設の配置から、駐車場をこれ以上広げることが物理的にできません。現状の状態では児童の安全を確保するには、お迎えの数を減らすしか方法がありません。このような状況をご理解いただき、ご協力をお願いしたいと思います。

なお、どうしても送迎が必要な場合は、下記（西門付近の自動車侵入経路図）のようにお進みください。西門前の道路は狭く、車同士の対向が難しいため、今後も西門からでる車は右折して、中学校第2グラウンド前の農道を経由し、八風街道へでるようにお願いします。本校教職員につきましては、緊急業務の出動が多いため、西門を左折して八風街道へでる場合があります。学童保育利用の保護者様にも、学童保育所を通じて同様の連絡をさせていただいております。交通事故防止と児童に自立する力をつけるためにもご協力を強くお願いします。

【西門付近の自動車侵入経路図】

【省略】

## 授業参観・修学旅行説明会・自然教室説明会 ご参加いただきありがとうございました

10月23日（金）に授業参観と修学旅行説明会、11月12日（木）には自然教室説明会を実施しました。両日ともお忙しい中、多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。

特に授業参観では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、1学期に引き続き地区別分散での開催となりました。ご覧いただきましたように、子どもたちは落ち着いて授業に参加できています。2学期のスタートから今日に至るまで、幸い大きな事故やトラブルもなく粛々と学校生活が進められているところです。

2学期も後半になり、人間関係等のトラブルなど様々な問題が生じてくる可能性もありますので、お子様の様子にご注意いただき、何かありましたら遠慮なくすぐに学校へご相談下

さい。

## 延期になっていた全校遠足実施

10月27日(火)に、延期になっていた全校遠足を実施することができました。本来ならば、4月21日(火)に実施予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大防止のためこの時期での実施となりました。

当日は天候に恵まれ、低学年は北勢中央公園、中学年は東員町中部公園、高学年は朝明公園(菰野町奥郷)へ出かけました。特に高学年は、片道6.5kmの道のりを途中、五百羅漢(菰野町竹成)でトイレ休憩をとりながら、最終目的地の朝明公園まで全員が歩き切りました。他学年も、高学年同様に事故や大きなけがもなく目的地まで全員到達することができました。

目的地では、手洗いと消毒、3密を気にしながら、仲間とお弁当を食べたり、遊具等で遊んだりと楽しいひと時を過ごしました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、多くの行事がなくなる中、こうして遠足が実施できたことに、児童のみならず教職員もほっとしているところです。早期に新型コロナウイルス感染症が解決することを願うばかりです。

## 防火教室の実施(中学年)

10月29日(木)に中学年が防火教室を実施しました。当日は、講師としてお招きした四日市北消防署の方から、火災発生のメカニズムや防火につながる基礎知識のお話と、天ぷら油の加熱による自然発火の実験を見せてもらいました。また、消火器の使い方も教えていただき、実際に水消火器を使った消化訓練も行いました。更に、けむり体験をすることで、実際に火災が発生すると煙は人の命を奪う恐ろしいものであることもわかりました。

今回の体験が、今後、不幸にして火災に遭遇した場合、自分の命を守る実践力につながるよう切に願い、同時に子どもたちの防火意識の向上につながればと強く思いました。

火災防止に向け、各ご家庭でも防火意識の向上に努めましょう。

## サツマイモの収穫体験(低学年)

11月5日(木)に、低学年がサツマイモの収穫体験をしました。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、子どもたちの手でサツマイモのつるを畝にさすことはできませんでしたが、『保々の自然に親しむ会』のみなさんにお世話になり、芋ほりをさせていただくことができました。

今年は、7月の長雨による日照不足と8月の高温、さらにイノシシの食害もあり、収穫量が減少し、サツマイモの大きさも小ぶりのものが多かったようです。しかし、子どもたちは一生懸命にサツマイモを掘り、大きなサツマイモが出てくると大きな歓声があがっていました。この取り組みにご協力いただいた『保々の自然に親しむ会』の皆さんに感謝いたします。